

- 1 液体を容器に入れたとき、液面の境界線が表面張力によってわずかに湾曲する現象を何という？
- 2 蒸留を行う際、加熱によって発生した気体を冷やして液体に戻すために用いる管状のガラス器具を何という？
- 3 液体を加熱して気体にし、それを冷やして再び液体として取り出す分離操作を何という？
- 4 呼気や炭酸飲料の泡などに含まれ、石灰水を白くにごらせるという特徴を持つ物質は何という？
- 5 ある一定の温度で、水100gに溶ける溶質の限界の量を表す数値を何という？
- 6 100gの水に溶ける物質の最大量を表す値を何という？
- 7 密度が空気より小さく、かつ水に極めて溶けやすい気体を捕集するために用いる方法を何という？
- 8 実験室で、分銅とつり合わせて物体の質量を測定する器具を何という？
- 9 固体に熱エネルギーを加え続けると、粒子が激しく動き出し、最終的に液体へと状態が変化することを何という？
- 10 液体を加熱して気体にし、再び冷やして液体に戻すことで分ける方法において、その物質ごとの固有の数値を何という？
- 11 デンプンや砂糖など、生物由来の成分が多く含まれる有機物のグループを何という？
- 12 液体の中に物体を入れたとき、浮くか沈むかの目安になる、物質1立方センチメートルあたりの質量を何という？
- 13 固体の物質を一度高温で溶かしてから再び冷やし、溶けきれなくなった物質を純粋な結晶として取り出す操作を何という？
- 14 亜鉛などの金属に塩酸を加えると発生し、火を近づけると音を立てて燃える性質を持つ無色の気体は何か？
- 15 2種類以上の物質が混ざり合っているものを何という？
- 16 一定の温度において、それ以上溶質を溶かすことができなくなった状態を何という？
- 17 固体が熱せられて液体へと状態を変えることを何という？
- 18 水溶液において、液体に溶け込んでいる物質のことを何という？
- 19 液体混合物を加熱して、それぞれの成分が気体になる温度差を利用して目的の成分を分離・回収する操作を何という？
- 20 物質の三態のうち、形や体積が一定で決まった形をしている状態を何という？
- 21 液体を加熱した際、液体内部から気泡が盛んに発生し、温度が一定に保たれる状態の変化を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	<u>メニスカス</u> とは、容器の壁面と液体との間の表面張力によって生じる液面の湾曲のことです。		<u>メニスカス</u>	☐
2	<u>冷却管</u> は、内側の管を通る気体を、外側の筒を流れる水で冷やす構造をしています。		<u>冷却管</u>	☐
3	<u>蒸留</u> は液体を加熱し、沸点の低いものを先に気体にしてから冷却して再び液体として回収する手法です。		<u>蒸留</u>	☐
4	<u>二酸化炭素</u> は、炭素が酸素と結びついてできる無色無臭の気体です。		<u>二酸化炭素</u>	☐
5	<u>溶解度</u> は、通常100gの溶媒に溶かすことができる溶質の最大量（グラム単位）で表されます。		<u>溶解度</u>	☐
6	<u>溶解度</u> は一定の温度における溶質の最大量を示した指標です。		<u>溶解度</u>	☐
7	<u>上方置換法</u> は、容器を逆さまにして、気体を下から入れ込み、容器内の空気を上に追い出すことで気体を集める方法です。		<u>上方置換法</u>	☐
8	<u>上皿てんびん</u> は、左右の皿に載せた物体の重さを分銅と釣り合わせることで測定する器具です。		<u>上皿てんびん</u>	☐
9	固体の状態で規則正しく並んでいた粒子が、熱によってエネルギーを得ると激しく振動し始めます。		<u>融解</u>	☐
10	<u>沸点</u> とは、液体が加熱されて沸騰し、気体になるときの温度です。		<u>沸点</u>	☐
11	これらは主に炭素、水素、酸素から構成される化合物です。		<u>糖類</u>	☐
12	<u>密度</u> は、質量を体積で割った値（g/cm ³ ）で定義されます。		<u>密度</u>	☐
13	この性質を利用し、物質を一度高温の液体に溶かし、ゆっくりと冷やすことで不純物を除いた純度の高い結晶として取り出す操作を <u>再結晶</u> といいます。		<u>再結晶</u>	☐
14	<u>水素</u> は原子番号1番の元素であり、非常に軽いため大気中に存在することは稀です。		<u>水素</u>	☐
15	<u>混合物</u> は、性質の異なる複数の物質が均一あるいは不均一に混ざり合っている状態です。		<u>混合物</u>	☐
16	これ以上溶かすことができない状態を <u>飽和</u> と呼びます。		<u>飽和</u>	☐
17	固体に熱を加えると、その振動が限界を超えて配列が崩れ、自由に動き回れる液体になります。この現象を <u>融解</u> といいます。		<u>融解</u>	☐
18	溶液を構成する二つの要素のうち、溶かされる側の物質を指します。		<u>溶質</u>	☐
19	<u>蒸留</u> は、この沸点の差を利用する分離方法です。		<u>蒸留</u>	☐
20	分子や原子が互いに強く引き合い、位置をほとんど変えずに規則正しく並んでいる状態です。		<u>固体</u>	☐
21	このとき、液体に加えた熱エネルギーはすべて状態変化に使われるため、液体の温度は一定に保たれます。これを <u>沸騰</u> と呼びます。		<u>沸騰</u>	☐

言えなかった用語ノート